

3 宮城学院報より震災関連記事抜粋

第40巻第11号 2011年3月24日発行

神は耐えられないような試練に遭わせることはなさない

理事長・学院長 松本 宣郎

2011年3月11日は東北関東（あるいは東日本）大震災が起こった日として、私たち日本人にとって、また宮城学院にとって、痛ましくも大きな試練の出来事として記憶されることになりました。激甚な地震と津波の後、15日を経てようやく燃料・食料・医薬品等の物資が被災地に届くようになりつつありますが、なお20万を超える人々が避難先で、寒さと物資の不足、体調不良、そして何よりも肉親を喪った悲しみと不安の中にあります。すべての被災された方々に神さまの恵みと励ましがあられ、一日も早く平安がもどりますよう、祈ります。

☆震災直後

宮城学院では「そのとき」、幼稚園は帰宅中、中高は授業中、大学は休校ながら卒業生の一部に卒業式のガウンを渡している最中でした。教職員は私も含めて多くがキャンパスにおりました。事務職員と委託会社の職員が建物の状況と閉じこめられた者がいないか、確認のために走り、学生・生徒を安全に待機させる手だてが迅速に整えられました。学生は体育館に、中高生はランディス館を避難所と決めました。自家発電機により、ある程度の暖房と電灯が確保され、常時災害情報を伝えるテレビも見えるようになりました。

電話が繋がらなくなりました。家族や友だちとの連絡がとれない不安が高まりました。最先端の文明の象徴である携帯電話が何の役にもたたなくなりました。

☆緊急支援のはたらきびと

情報の一元化と的確な指示体制はなかなかスムーズには行きませんでした。しかし次第にそのような体制でなければならない、という意識が全員に醸成されていったように思います。幼稚園児の無事も確認され、暗くなってかえって落ち着いた避難所が確立しました。

11日当日は、学院の近隣で生活している学生もキャンパスを頼ってきたりして、大学生246名、そして中高生134名が、簡易ながら夕食をとり、急遽集められたマット、毛布で、付きそう教職員と共に夜を過ごしました。以後日を追ってその数は減少してゆきましたが、この間の教職員、関係者の献身的はたらきは、水際だったものでした。教員・事務職員協働で学生・生徒への支援が行われました。宮城学院として大いに感謝すべく、また誇らしいことだと感じました。それぞれに自宅も家族も被害を受け、しかも安否の情報すら定かでない中での働きであったのです。特にどなたが、とはあえて言いませんが、ただ明記したいのは、大学生協が、当日のみならず数日にわたって食料を中心に物資供給のために多大な努力をしてくださったことです。感謝の他ありません。

☆災害対策本部

緊急対応の一連の作業が一段落ついて、15日に全体の災害対策本部会議を開催、以後この会議を宮城学院大震災後諸対策の最高機関とすることとしました。18日の会議で、防災担当の林基哉教授から、大学の講義館すべてに地震によるダメージが懸念され、専門家による調査を経なくては立ち入ることは危険、との判断が示されました。教員の研究室の中には書架が倒れるなどして入室不可能なものが16件あり、また一部地面の亀裂も見られ、調査は不可欠でした。礼拝堂のオルガン、橄欖寮にも、中高の図書室などにも、壊れたり倒れたりしたものが多くありました。幸いなことに調査の結果どの建物も大丈夫でした。あとは天井や床、書架等の損壊について、順次復旧対策を講じたいと思います。

☆新年度に向けて

震災は大学・中学校・幼稚園の卒業式直前に起こりました。緊急の対応が一段落して、まず皆が考えたのが、目白押しの諸行事をどうするか、の判断でした。学生たちにとってせつかくの人生一度の卒業式はなんとか経験させたい、というのが共通の思いでしたが、他の学校の動きも見て、結局大学と中学校の卒業式は中止と決定しました。被災1週間後の18日に、新年度の授業開始、それまでの教職員の対応も基本的に定まりました。その詳細は既に宮城学院のホームページに掲げられた通りです。

胸痛むことですが、命を落とした学生がいます。家を津波で失った学生・生徒・教職員がいます。なお連絡のつかない者がおり、教員たちがコンタクトに努力しています。卒業生の就職にも影響が出

ないとは限りません。入学生の最終的確定にも時間がかかります。さらに建物・施設の修理も大きな問題となるでしょう。何よりも在學生と新入學生が震災後、安らぎを少しでも得て、宮城学院にもどってこられるように、準備しなくてはなりません。今の予定では、4月いっぱいとその期間と考えています。

☆社会への発信に課題

一つの反省事項は、震災後の宮城学院の公に向けての発信、あるいは広報に課題が残ったことです。電話が一時的に通じなくなったのはやむを得ないとしても、NTTの回線の不具合で、外線がつながらないままになったのです。従って外から気遣ってかかる電話が他の学校などよりずっと長く遮断され、いったい宮城学院はどうなっているのか、と個人を通じて問い合わせをいくつも受ける羽目になってしまいました。電話が通じなければそれなりの措置があったのではないかと思われました。

また、被災後、被害状況や当面の卒業式などの変更について、当方からテレビ・ラジオへの連絡に遅れがあり、他校とのギャップがあったことも指摘されました。ホームページの方は電話よりずっと早く発信できるようになったのですが、法人・大学・中高、の災害情報が速やかにリンクして見られるようになるのに少し時間がかかりました。

☆感謝

重ねて、学生・生徒・園児と宮城学院そのものを支えるために、文字通り身を粉にしてはたらき続けてくださっている教職員に、敬意と感謝をささげます。

キリスト教学校教育同盟を通じ、あるいはホームページによって海外から、支援を申し出る声が続いていきます。地震直後の避難所におにぎりを差し入れてくださった方もありました。宮城学院として、このように熱い支援をいただいただけでなく、より厳しい被災現場にある方々のために奉仕できることもある、と思っています。物資補給基地の一つとして体育館の一部を提供していますが、現にいくつかの避難所でボランティアとして働いている学生たちもいると思いますし、教職員にもまた出来る範囲で東北関東大震災被災地復興の国民的となりに参加していただきたいと思います。

☆神さまが守ってくださる

日本にとって、そしてもちろん宮城学院にとって、大きな試練の年度がはじまります。しかしこれは、神がお与えになった、耐えることの出来る試練です（Iコリント10：13）。このことを信じて、力強い一歩を歩み出しましょう。

「神はわたしたちの避けどころ、わたしたちの砦。
苦難のとき、必ずそこにいまして助けてくださる。
わたしたちは決して恐れない、
地が姿を変え、山々が揺らいで海の中に移るとも。
海の水が騒ぎ、沸き返り、その高ぶるさまに山々が震えるとも。
・・・

万軍の主はわたしたちと共にいます。
ヤコブの神はわたしたちの砦の塔。」（詩編46：2-4, 8）

学 事

◎春季休業中の海外研修

【以下の海外研修は震災のため中止となりました】

- 大学・国際文化学科海外実習（フィリピン）
期間 2011年3月12日(土)～3月27日(日)
- 中学校高等学校・海外研修（オーストラリア）
期間 2011年3月23日(木)～4月4日(月)

◎2011年度各学校入学式

【以下のとおり予定されていた各学校の入学式は、中止又は延期の見通しとなっています】

- 大学院
 - ・人文科学研究科(英語・英米文学専攻(GSE)、日本語・日本文学専攻(GSJ)、人間文化学専攻(GSC)、生活文化デザイン専攻(GSL))

2011年4月5日(火) 10：00～ 於 大学講堂

- ・健康栄養学研究科(健康栄養学専攻・GSH)

2011年4月5日(火) 14：00～ 於 大学講堂

○大 学

- ・英文学科(E)、日本文学科(J)、人間文化学科(C)、音楽科(M)、生活文化デザイン学科(L)

2011年4月5日(火) 10：00～ 於 大学講堂

- ・食品栄養学科(F)、発達臨床学科(D)、国際文化学科(I)、心理行動科学科(P)、児童教育学科(X)

2011年4月5日(火) 14：00～ 於 大学講堂

○高等学校

2011年4月9日(金) 13：30～ 於 中高講堂

○中学校

2010年4月9日(金) 9：00～ 於 中高講堂

○大学附属幼稚園

2010年4月9日(土) 10：00～ 於 幼稚園

行 事

◎2011年3月11日「東北地方太平洋沖地震」に係る各 校行事日程等の変更について

3月23日までに、各学校の行事予定等が次のように変更となりました。

○幼稚園

- ・3月23日(水)に予定していた「第3回新入園児オリエンテーション」は中止する。
- ・修了式 3月29日(火) 10:00登園 5歳児のみ出席
- ・終業式 3月30日(水) 10:00登園 3・4歳児
- ・入園式 5月6日(金)

○中学校・高等学校

- ・生徒は当面「自宅待機」とし、4月下旬見込みの始業日についてはメール連絡による。
- ・高等学校二時手続き日 3月24日(木)～26日(土) 10:00～13:00

但し、期間中に手続きが困難な事情のある受験生は事務室に連絡すること。

- ・3月24日～26日に予定していた「中学・高等学校のオリエンテーション」は延期する。
- ・「入学式」及び「始業式」は、4月下旬に延期する。

○大学・大学院

- ・3月19日(土)の学位記授与式は「中止」する。
- ・4月中の行事は「中止」する。
- ・入寮式 5月2日(月)
- ・新入生登校日 5月6日(金)
<入学式は中止の見込み>
- ・在校生の登校日 5月7日(土)
- ・2011年度B日程入試の手続き締め切りを3月29日(火)まで延長する。
- ・2011年度入学に必要な提出書類の締め切りを3月29日(火)まで延長する。
- ・2011年度B日程入試の追加合格発表日を延期する。

◎宮城学院高等学校卒業礼拝次第

日時 2011年2月28日(月) 9:00～

場所 礼拝堂

司 式：酒井 薫
奏 楽：石川 洋子

招きの言葉

讃 美 歌 24番 (たたえよ、主の民)
交 読 詩 編 116編 1～4 (わたしは主を愛する)
聖 書 創世記 第28章10～15節

祈 り

讃 美 歌 463番 (1～2節)
(わが行くみち いついかに)

説 教 『人は帰らねばならない、そこより
出て来たりし あの暗き谷間へ!』
“That Man should return /
To the dark valley whence he came”

祈 り 大沼 隆 牧師 (前 宮城学院宗教総主事)

讃 美 歌 463番 (3節)(あらうみをも うちひらき)

頌 栄 27番 (父・子・聖霊の)

祝 祷

◎第63回宮城学院高等学校卒業証書授与式次第

日時 2011年3月1日(火) 10:00～

場所 大学講堂

司 式：教 頭 長井 祥子
奏 楽：教 諭 石川 洋子

前 奏 「主よ人の望みの喜びよ」 弦楽アンサンブル
讃 美 歌 520番 一 同
聖 書 朗 読 コリントの信徒への手紙一
第13章1～13節 宗教主事 酒井 薫

祈 禱 (1・4節) 一 同

卒業証書授与 学 校 長 石井 道夫
学校長の言葉 学 校 長 石井 道夫
学院長の言葉 学 院 長 松本 宣郎
在校生の歌 「信仰」 高校2年生一同
在校生の言葉 在校生代表 佐藤あやめ
卒業生の言葉 卒業生代表 穴戸 優美
記念品目録贈呈 卒業生代表 鈴木 花佳
卒業生の歌 「ああ感謝せん」 指 揮 菅原 千聖
伴 奏 齋藤 愛美

讃 美 歌 439番 一 同
頌 栄 24番 一 同
祝 禱 宗教主事 酒井 薫
後 奏 「威風堂々」 弦楽アンサンブル

◎宮城学院女子大学・大学院卒業礼拝次第

【大学・大学院の卒業礼拝は震災により中止となりました】

日時 2010年3月17日(木) 10:00～11:00

場所 礼拝堂

司 式：新免 貢
奏 楽：加藤 晶子

前 奏 “Ein feste Burg ist unser Gott”
神はわがやぐら J.G.Walther作曲
讃 美 歌 57番 (ガリラヤの風かおる丘で) 一 同

聖 書 イザヤ書 42章1～4節 司 式 者
祈 禱
賛 美 “Laudate pueri”
ラウダーテ・プエリ Mendelssohn
合 唱 音楽科4年 * * * * *
オルガン 音楽科4年 * * * * *
指 揮 音楽科4年 * * * * *

メッセージ 「よき同伴者ととともに」
名古屋堀川伝道所牧師 島 しづ子 先生

祈 禱
讃 美 歌 196番 (主のうちにこそ) 一 同
祝 禱 司 式 者
Benediction 音楽科4年生
後 奏 “Herr Jesu Christ, dich zu uns wend”
主イエス・キリストよ、み顔を我らにむけ
G.Böhm作曲

◎第59回宮城学院女子大学 (食品栄養学科・発達臨床学 科・国際文化学科・心理行動科学科・児童教育学科) 第15回宮城学院女子大学大学院 (健康栄養学研究科) 学位記授与式次第

【大学・大学院 学位記授与式は震災により中止となりました】

日時 2011年3月19日(土) 10:00～

場所 大学講堂

司 式：教務部長 佐々木隆之
奏 楽：教 授 浅野 繁

前 奏 Sarabande Arc.Corelli

開式宣言

讃 美 歌 90番 (ここもかみの) (一同起立)
聖書朗読および祈禱 詩篇 第1編1節～6節

宗教センター所長 新免 貢
J.Brahms
音楽科1・2年生

学位記授与 指揮 准教授 坂本知亜紀
 学 長 吉崎 泰博
 (介添 学科長・研究科長)
 告 辞 学 長 吉崎 泰博
 学院長の言葉 学 院 長 松本 宣郎
 答 辞 学芸学部総代 石野 絢子
 (心理行動科学科)
 大学院総代 濱田 純子
 (健康栄養学専攻)

校歌斉唱 1番と4番
 祝 唱 The Lord bless you and keep you
 P.C.Lutkin

閉式宣言
 後 奏 Marcia K.408 Mozart

◎第59回宮城学院女子大学(英文学科・日本文学科・人間文化学科・音楽科・生活文化学科)・第15回宮城学院女子大学大学院(人文科学研究科)学位記授与式次第
【大学・大学院 学位記授与式は震災により中止となりました】

日 時 2011年3月19日(土) 14:00~
 場 所 大学講堂

司 式: 学生部長 戸野塚厚子
 奏 楽: 教授 野沢 真弓
 J.S. Bach

前 奏 Sarabande BWV832
 開式宣言
 讃美歌 90番(ここもかみの) (一同起立)
 聖書朗読および祈禱 詩篇 第1編1節~6節
 宗教センター所長 新免 貢

合 唱 Regina coeli J.Brahms
 音楽科・2年生

学位記授与 指揮 准教授 坂本知亜紀
 学 長 吉崎 泰博
 (介添 学科長・研究科長)
 告 辞 学 長 吉崎 泰博
 学院長の言葉 学 院 長 松本 宣郎
 答 辞 学芸学部総代 佐藤千恵美
 (英文学科)
 大学院総代 三浦かおり
 (人間文化学専攻)

校歌斉唱 1番と4番
 祝 唱 The Lord bless you and keep you
 P.C.Lutkin

閉式宣言
 後 奏 Papillons Op.2 R.Schumann

◎宮城学院女子大学附属幼稚園修了礼拝次第

日 時 2011年3月11日(金) 11:00~
 場 所 幼稚園

司 会 福田 花絵
 奏 楽 佐藤 篤子

前 奏
 さんびか 「ひかりひかり」 こどもさんびか 52番
 聖書朗読 ヨハネによる福音書 13章1節・4~5節
 お 祈 り
 お 話 「足を洗うイエスさま」
 お 祈 り 酒井 薫先生
 さんびか 「ちいさいのちが」 こどもさんびか 114番
 後 奏

◎第55回宮城学院女子大学附属幼稚園修了証書授与式次第
【幼稚園修了証書授与式は震災により3月16日10時からが3月29日10時30分からに変更となりました】

日 時 2011年3月29日(火) 10:30~

場 所 幼稚園 司 会 色川 幸子

はじめのことば
 前 奏
 讃美歌 こどもさんびか「やさしいめが」
 一 同

聖書・お祈り テサロニケの信徒への手紙一
 第5章16~18節 学 院 長 松本 宣郎
 園 長 白木 悦子
 修了証書授与 園 長 白木 悦子
 園長のことば 園 長 白木 悦子
 う た 「お別れのうた」 修了児・4歳児
 お祝いのことば 学 長 吉崎 泰博
 お別れのことば 修了児・4歳児
 う た 「思い出のアルバム」 修了児一同
 感謝のことば 保護者代表 佐藤真由美
 讃美歌 「忘れないで」 保護者一同
 う た 「さよならぼくたちのようちえん」 修了児一同

おわりのことば

* * *

来賓紹介
 お 話 学 院 長 松本 宣郎
 記念品贈呈 修了生より幼稚園へ
 保護者代表 梶 延子
 園 長 白木 悦子

◎第64回宮城学院中学校卒業式次第

【中学校卒業式は震災により中止となりました】
 日 時 2011年3月18日(金) 9:30~
 場 所 中高講堂

司 式: 教 頭 斎藤佐四郎
 奏 楽: 教 諭 小野寺節子

前 奏 (黙禱)
 讃美歌 18番 一 同
 聖書朗読及び祈禱 ヨハネによる福音書
 第15章1~10節 宗教主事 酒井 薫
 讃美歌 520番 一 同
 卒業証書授与 学 校 長 石井 道夫
 学校長の言葉 学 校 長 石井 道夫
 学院長の言葉 学 院 長 松本 宣郎
 在校生の言葉 在校生代表 郷湖 壽
 卒業生の言葉 卒業生代表 山田絵莉香
 記念品目録贈呈 卒業生代表 渡邊 繭子
 卒業生を送る歌 GLORIA 中学二年生
 卒業生の歌 SANCTUS 指 揮 天野 志保
 伴 奏 渡辺 愛佳
 一 同

頌 栄 28番
 祝 禱
 後 奏 (黙禱)

○宮城学院行事予定表（3月）

月	日	曜	幼稚園	中学校・高等学校	大学院・大学	学院	
3	1	火		高 卒業式	卒業判定教務部委員会	常任理事会(10:00～)	
	2	水	誕生会	中 学年末試験 高1・2 学年末試験	卒業判定教務部委員会/修了判定 研究科委員会/在学生成績発表 在学生追・再試験日程発表 (追再レポート課題配布開始) 在学生追・再試験手続期間(受験票提出) 教授会(13:30～)		
	3	木	4歳児懇談会				
	4	金	3歳児懇談会	中 追再試日	臨床看護実習(東北大学病院歯科診療部門) 院内オリエンテーション(F科3年生)		
	5	土		中 午前授業	在学生追・再試験 一般入学試験(B日程・センター 利用試験)、特別入試(外国人 留学生・帰国帰国子女)試験日		
	6	日					
	7	月					
	8	火	おわかれ会	高 追再試		常任理事会(10:00～)	
	9	水	給食	公立高校入試日	臨床看護実習(東北大学病 院歯科診療部門)(F科3年生)	監事監査	
	10	木		中2 科学館学習	教授会(10:00～)		
	11	金	修了礼拝		卒業生追・再試験成績提出締切日 在学生全成績提出締切日 (保留を含む)		
	12	土		高 進路の日	I科海外実習 (～3/27、フィリピン)		
	13	日					
	14	月	修了式予行演習	高1・2 スタディサポート			
	15	火	修了式準備のため 11:30降園	公立高校合格発表		定期理事会(10:00～)	
	16	水	修了式(10:00～) 3歳児休園		キリ文研犬飼所長最終講 演(14:00～)		
	17	木		卒業・進級認定会議	卒業・修了礼拝(10:00～11:00) 卒業パーティー(卒業礼拝修了後)		
	18	金	第3学期終業式 進級児オリエンテーション	中 卒業式	学位記授与式予行演習 進級注意・不可者判定教務部委員会		
	19	土	春期休業		学位記授与式(10:00～ F・D・I・ P・X/GSH)(14:00～ E・J・C・ M・L/GSE・GSJ・GSC・GSL)		
	20	日					
	21	月	~~~~~ 春 分 の 日 ~~~~~				
	22	火		終業式		常任理事会(10:00～)	
	23	水	第3回新入園児オリエン テーション	春休み 研究会 第23回海外研修(～4/4、オーストラリア)		定期評議員会(13:00～) 公認会計士監査 産業医健康相談日(14:00～15:00)	
	24	木		新中1オリエンテーション			
	25	金		新高1オリエンテーション		退職者辞令交付	
	26	土		新高1スタディサポート			
	27	日					
	28	月		補習(中1)			
	29	火			発達科研ワークショップ (13:00～)		
	30	水					
	31	木					

復興の槌音

理事長・学院長 松本宣郎

東日本大震災から、もう1ヶ月半がすぎました。宮城学院は建て物こそ大きな損壊は受けませんでした。学生と大学入学予定者に犠牲者が出、父母を喪い、家屋を流失した方、被害を受けたマンションなどから退去させられた方、が少なからず出ました。その間宮城学院として適切に対応できたでしょうか。常に検証しつつ、ことに被害を受けた方々への手当を怠らないでいたいと思います。

この間、聖書からいくつもの言葉を、新しい思いで読み直しました。その一つがエレミヤの言葉です(17:14-17)。

「主よ、あなたがいやしてくださるなら／わたしはいやされます。
あなたが救ってくださるなら／わたしはすぐわれます。
あなたをこそ、わたしはたたえます。
御覧ください。彼らはわたしに言います。／「主の言葉はどこへ行ってしまったのか。
それを実現させるがよい」。／わたしは、わがわがが速やかに来るよう
あなたに求めたことはありません。／痛手の日を望んだこともありません。
わたしを滅ぼす者とならないでください。／災いの日に、あなたこそわが避け所です。」

宮城学院が神を避け所として知っていることの幸いを実感しています。建て物で本質的被害を蒙ったものではありませんでしたから、4月18日(月)に、立ち入り禁止を解きました。幼稚園はそれより早く、安全な部屋だけ使って15日(金)に始業式、16日(土)に入園式を行っています。この日あたりが宮城学院の開花日ということです。入園式では、海野学長も初登場でした。

立ち入り禁止の場所はまだ残っています。ただしそこは、補修工事中だからです。壁の煉瓦タイルも、歩道の亀裂も、建て物の落ちたモルタルも、次々に修理され、復興の槌音が高らかです。礼拝堂とハンセンホールオルガンは、マイスターの須藤宏さんに点検してもらいました。後者の方が被害が大きく、34本のパイプの修理が必要で、須藤さんがご自分の工房へ車でもって行かれました。それに対し礼拝堂のオルガンはやや軽微で、礼拝で奏楽も可能とのこと。4月27日(水)の礼拝で用いることにしました。宮城学院にオルガンの響きはなくてはなりません。

27日の礼拝は、毎月の教職員礼拝を少し拡大し、震災の被災者を覚えて行うこととしました。亡くなったのは、食品栄養学科4年の高橋沙織さんと音楽科3年の阿部茉莉奈さん、入学予定だった加藤春奈さんの3名です。同窓生の中にも犠牲者が出ているとうかがっております。宮城学院として哀悼の意を表します。

5月になって、学校が本格的に始まってから、これら逝去者と被害を負われた方々すべてを覚えて宮城学院の追悼礼拝をもつことになると思います。

同窓会や、文化功労者の国文学者中西進先生などから、多くの義援金が寄せられています。ありがたいことです。これら外部からのご芳志は主として、被災した学生生徒の学資支援に用いさせていただきます。宮城学院を拠点にボランティアに出て行く学生たちの動きも活発なようです。教職員も頑張っています。東日本復興のわざに宮城学院も積極的に参加し、関わり続けたいと思います。

女子大教授伊澤佑子先生が亡くなりました。昨12月にガンが見つかって4ヶ月でした。二番目のお嬢さんの結婚式までは、とご家族は祈っておられたのですが、その1日前に神に召されました。大沼隆前宗教総主事の説教により、19日仙台川平教会で葬儀が行われました。元同僚たちが会堂いっぱいでした。先生は『赤毛のアン』で知られるカナダの作家モンゴメリの研究者として海外で活躍され、宮城学院のホームページで掲げた震災後の英文メッセージ記載の私のアドレスには、モンゴメリ研究会メンバーのメールが10数通届きました。昨年の大学クリスマス礼拝に元気で出席されたとき親しくお話ししましたが、それが最後となりました。哀悼の意を表します。

行 事

◎第55回宮城学院女子大学附属幼稚園修了証書授与式次第 【幼稚園修了証書授与式は震災により次のように変更して執り行われました】

日 時 2011年3月29日(火) 10:30～

場 所 幼稚園

司 会 色川 幸子

はじめのことば

前 奏

讃 美 歌 こどもさんびか「やさしいめが」

一 同

聖書・お祈り テサロニケの信徒への手紙一

第5章16～18節 学 院 長 松本 宣郎

修了証書授与 園 長 白木 悦子

園長のことば 園 長 白木 悦子

う た 「お別れのうた」 修了児・4歳児

お祝いのことば 学 院 長 松本 宣郎

お別れのことば 修了児・4歳児

う た 「思い出のアルバム」 修了児一同

感謝のことば 保護者代表 佐藤真由美

記念品贈呈 修了生より幼稚園へ

保護者代表 柁 延子

讃 美 歌 「忘れないで」 保護者一同

う た 「さよならばくちのようちえん」

修了児一同

おわりのことば

一 園 児 退 場 一

保護者の皆様への挨拶 園 長 白木 悦子

◎宮城学院行事実施表（3月）……………P13へ

◎宮城学院行事予定表（4月）……………P14へ

通 知

◎大震災より被災した学生生徒・保護者の皆様へ

（東日本大震災被災者支援策 2011年3月25日付）

宮城学院女子大学、宮城学院中学校・高等学校では、災害救助法の適用された地域（9県164市町村）で、被災された学生生徒及び入学予定者（新入生）の皆様への経済的支援策として、以下のことを行うことになりました。詳細（手続き方法、必要書類）につきましては、決まり次第ホームページでお知らせいたします。

なお、本学院で就学／修学を希望している学生生徒及び入学予定者が今回の災害によって学業継続／進学を断念することのないよう、さらに支援策について検討をしていく所存でございます。

<問い合わせ窓口>

大学生・大学院生 学生支援グループ(学生生活担当)

中学生・高校生 中高事務室

[大学]

(1) 学費等の免除

1) 家屋等が損害を受けた場合

○入学予定者（新入学生）

被災状況	入学金	学費等（授業料・施設設備資金）
全壊(流失)	免除	2011年度学費等全額免除
半壊	免除	2011年度学費等半額免除

※すでに納入済みの入学金・校納金等については

返還いたします。

○在校生

被災状況	学費等（授業料・施設設備資金）
全壊(流失)	2011年度学費等全額免除
半壊	2011年度学費等半額免除

2) 学費負担者が死亡した場合

○入学予定者（新入生）

入学金および2011年度学費（授業料・施設設備資金）の全額免除

○在校生

2011年度学費（授業料・施設設備資金）の全額免除

(2) 在校生への見舞金

2011年度在校生で、自宅外学生の住居（アパート等）が被災し、転居が必要な場合、見舞金（50,000円）を支給。

[中高]

(1) 校納金等の免除

1) 家屋等が損害を受けた場合

○入学予定者（新入生）

被災状況	入学金	校納金（授業料・施設設備資金・教育充実資金）
全壊(流失)	免除	2011年度校納金等 全額免除
半壊	免除	2011年度校納金等 半額免除

※すでに納入済みの入学金・校納金等については返還いたします。

○在校生

被災状況	校納金（授業料・施設設備資金・教育充実資金）
全壊(流失)	2011年度校納金等 全額免除
半壊	2011年度校納金等 半額免除

2) 校納金負担者の死亡した場合

○入学予定者（新入生）

入学金および2011年度校納金等（授業料・施設設備資金・教育充実資金）の全額免除

○在校生

2011年度校納金等（授業料・施設設備資金・教育充実資金）の全額免除

(2) 在校生への見舞金

2011年度在校生で、自宅外生徒（アパート等で一人暮らしている等）の住居等が被災し、転居が必要な場合、見舞金（50,000円）を支給。

東日本大震災にかかると点検・復旧工事 工程表

2011年4月18日現在

建物名	インフラ		4月							5月																				
			18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30	1	2	3	4	5	6	7	8							
本館	電気	水道	○	○	○																									
実習館			○	○	○																									
人文館			○	※1	○																									
講義館			○	○	○																									
第二講義館			○	○	○																									
家政館			○	※2	○																									
第二家政館			○	※3	○																									
音楽館			○	※3	○																									
ハンセンホール			○	-	-																									
大学図書館			○	○	○																									
大学講堂			○	○	○																									
学生センター			○	○	○																									
礼拝堂			○	○	○																									
大学体育館			○	○	○																									
中高校体育館			○	○	○																									
屋内プール			○	○	○																									
同窓会館			○	○	○																									
中高棟			○	○	○																									
中高講堂			○	○	○																									
ランデイス館			○	○	○																									
幼稚園			○	○	○																									
青桜シャロン寮			○	○	○																									
榎寮			○	○	○																									

※1 4月25日(月)10:00～ 水圧試験を実施します。人文館3階～5階の研究室、副研究室等の洗面化粧台の点検を行います。
 ※2 現在家政館でガス配管に漏れがあり供給出来ない状態です。仙台市ガス局に修理依頼中(25日修理開始)、ガス管修理完了後、水・排水工事着手予定。
 ※3 家政館でガス・水道(トイレは使用可能)が止まっているために、ガス・水道が供給出来ない。
 家政館のガス・水道工事完了後(25日以降)供給開始

○宮城学院行事实施表（3月）

月	日	曜	幼稚園	中学校・高等学校	大学院・大学	学院	
3	1	火		高 卒業式	臨床看護実習(F科3年生) 卒業判定教務部委員会		
	2	水	誕生会	中 学年末試験 高1・2 学年末試験	卒業判定教務部委員会/修了判定 研究科委員会/在学生成績発表 在学生追・再試験日程発表 (追再レポート課題配布開始) 在学生追・再試験手続期間(受験票提出) 教授会 (13:30～)	常任理事会(10:00～)	
	3	木	4歳児懇談会				
	4	金	3歳児懇談会	中 追再試日	臨床看護実習(東北大学病院歯科診療部門) 院内オリエンテーション(F科3年生)		
	5	土		中 午前授業	在学生追・再試験 一般入学試験(B日程・センター 利用試験)、特別入試(外国人 留学生・帰国子女)試験日		
	6	日					
	7	月			臨床看護実習(東北大学病院歯科診療部門) 院内オリエンテーション(F科3年生)		
	8	火	おわかれ会	高 追再試		常任理事会(10:00～)	
	9	水	給食	公立高校入試日	臨床看護実習(東北大学病 院歯科診療部門)(F科3年生)	監事監査	
	10	木		中2 科学館学習	教授会 (10:00～)		
	11	金	修了礼拝		卒業生追・再試験成績提出締切日 在学生全成績提出締切日 (保留を含む)	<14:46、東日本大震災 (震度7、M9.0)発生>	
	12	土	臨時休園				
	13	日					
	14	月					
	15	火				定期理事会 (10:00～) 定期評議員会 (13:00～) 全学院協議会 (17:30～)	
	16	水					
	17	木					
	18	金		教員会議			
	19	土					
	20	日					
	21	月	~~~~~ 春 分 の 日 ~~~~~				
	22	火				常任理事会(10:00～)	
	23	水					
	24	木					
	25	金				退職者辞令交付 臨時評議員会(11:00～) 臨時理事会(13:30～)	
	26	土					
	27	日					
	28	月					
	29	火	修了式(10:30～) 3、4歳児休園				
	30	水	第三学期終業式 進級オリエンテーション	卒業・進級認定会議	進級注意・不可者判定教 務部委員会		
	31	木	春期休業	研究会			

ロビンソン・クルーソーのように

理事長・学院長 松本宣郎

宮城学院の「学業」の再開は、4月16日(土)の幼稚園入園式を先頭に、26日(火)が中学校卒業証書授与式、28日(木)中学高校入学式、と続き、連休明けの5月6日(金)から中高は通常授業、大学はガイダンスと、ここまで来て本格化しました。中高の朝の礼拝、大学の昼の礼拝もいつも通りに行われるようになりました。中高では全員出席の中、6,7日にイースター礼拝をもち、仙台五橋教会の宮川経宣牧師が説教をしてくださいました。いつもより生徒たちの姿勢や「アーメン」の声がきりっとして、力強く思えました。

4月27日(水)には教職員礼拝も開くことが出来ました。大震災による宮城学院の被災者、2人の学生、1人の入学予定者、7人の同窓生の逝去者、また家族を喪い、様々な痛手を負った方々のことを覚え、さらにはすべての被災者にも思いをいたしての、追悼礼拝でした。新免貢教授から「光あるうちに光の中を歩め」の題で説教がありました。多くの方々の死を前にして、生き残った私たちは何もしてあげられなかったとの心の痛みを抑えがたいが、自分に出来ることを、ボランティアなどひとつひとつなす事に努めたい、と語りかけました。

キャンパスに学生、生徒が行き交い、屋には芝生周辺で憩う姿、満席の食堂、などに接すると、当たり前前の学校生活なのですが、とても大切な情景だ、としみじみ思います。本部で会議を開いていても、なんとなくくつろいだ、明るい雰囲気がただようのです。

大震災以来、国内外のキリスト教学校や宮城学院関係者、のみならず様々な方々から支援が寄せられていることは、先月の本欄でもご紹介しましたが、ここでもまた感謝の意を表させていただきます。遠くは広島など、多数のキリスト教学校から、被災した学生・生徒の引き受けの申し出がありました。水や卓上コンロのガスボンベなどの提供もありました。文部科学省私学助成課長が訪問され、遠慮なく助成の申請を、と勧められました。日本私立大学連盟からも事務局長が来訪、お見舞いをいただきました。学院長宛に届いた電話、メールは数知れません。関係企業からも訪問やお見舞いをいただいています。

義援金も日を追って積み重なっています。学院内教職員からも次々に寄せられています。被災した学生生徒のための学費免除、就職支援などの手当については二度にわたってホームページで公表したとおりで、できるだけのことを、一年にかぎらないで続けたいと考えています。特に、いただいた内外からの義援金はこれら学生・生徒支援のために使わせていただきたいと思います。重ねて感謝いたします。

宮城学院もまた、より厳しい損害を負った被災者への支援を心がけています。さるNGOからの依頼があり、大学体育館を被災地支援物資の補給基地として1ヶ月ではありましたが利用していただきました。大学では支援ボランティア登録を行い、200名を超す学生たちが参加、被災した子どもたちのケア、避難者の医療に携わる方々のための食事提供、などに働いています。被害の復旧が終わった大学講堂は、仙台市内のイベントホールが軒並み長期にわたって使用できなくなっている現状から、復興支援を銘打つなどの催しのために提供することとし、呼びかけたところ、いくつもの申し込みがありました。土曜午後と日曜に限る、など若干の条件はつけさせていただきますが、協力したいと思っています。

授業が再開したと言うことは、宮城学院の運営自体も例年通りに動く、ということです。もちろん教職員は、震災直後から仕事を続けてきました。震災後処置が概ね完了し、ルーティンワークを主体にすることができるようになりました。2011年度予算は、震災前の原案策定です。震災直後とはゆきませんでした。3月25日に理事会・評議会を開催できて成立しました。もちろん震災後への対応の必要上、補正予算策定を前提としての成立でした。その補正予算は、準備中ですが、損壊補修と、大学生約200名、中高生40名余の家屋全半壊による授業料等免除、諸見舞金など、総計で4億円と予測され、やはり震災による影響の厳しさを覚悟しなくてはなりません。ついで、2011年度スタートの「中長期計画大綱」と「第三次中期財政計画」を決定(4月30日付け『学院報』号外参照)、大綱の実現のための計画策定を大学・中高に諮問しました。そして2010年の事業報告・決算報告を現在まとめているところです。

大震災被害を乗り越え、しかし痛みを負った方々の記憶を忘れることなく、宮城学院は確実な歩み続けてゆきます。125周年の年度は大きな試練から始まりましたが、将来に向けての計画を果たしてゆくことに、希望を持って集中してゆきたいと思います。

5月18日(水)の新年度2回目の教職員礼拝で私が説教を担当しました。私たちがなすべきことは無限にあるけれど、出来ることには限りがある、とのひるむ思いを私たちは隠せない。そこで私が挙げた一つの例が、『ロビンソン・クルーソー漂流記』です。難破して絶海の孤島に流れ着いて助かったとき、

彼がまずしたことは、神に感謝をささげる礼拝だったのです。神によって建てられた宮城学院がなすべきことも、まずみずからのよって立つ根本を確認をすることだ、と思います。そこから出発するとき、私たちに出来ることを、喜びをもって、淡々と進めてゆけるのだ、と思います。

行 事

◎第64回宮城学院中学校卒業証書授与式次第

【中学校卒業式は当初3月18日として準備されておりましたが、震災により一時は中止との判断もありました。その後、社会状況と本学の現況に鑑み式は簡素化して次のように変更して執り行われました。】

日 時 2011年4月26日(火) 13:30～

場 所 ランディス館ホール

司 式：教 頭 斎藤佐四郎
奏 楽：教 諭 小野寺節子

前 奏 (黙禱)
讃 美 歌 18番 一 同

聖書朗読及び祈禱 ヨハネによる福音書 第15章1～10節

宗 教 主 事 酒井 薫

讃 美 歌 520番

卒業証書授与 学 校 長 石井 道夫

学校長の言葉 学 校 長 石井 道夫

学院長の言葉 学 院 長 松本 宣郎

卒業生の言葉 卒業生代表 山田絵莉香

記念品目録贈呈 卒業生代表 渡邊 繭子

頌 栄 28番

祝 禱

後 奏 (黙禱)

<4月2日(土)に一部(外部進学者)には卒業証書授与がありました。>

◎2011年度宮城学院中学校入学式次第

日 時 2011年4月28日(木) 9:00～

場 所 中高講堂

司 式 教 頭 斎藤佐四郎
奏 楽 教 諭 清野 陽子

前 奏 (黙禱)
讃 美 歌 493番 一 同

聖書朗読・祈禱 ヨハネによる福音書 15:12-17

宗 教 主 事 酒井 薫

校 歌 斉 唱 (1,4節)

新入生氏名点呼 各 組 担 任

入学許可宣言 学 校 長 石井 道夫

学校長の言葉 学 校 長 石井 道夫

学院長の言葉 学 院 長 松本 宣郎

在学生の言葉 在校生代表 小松 怜奈

讃 美 歌 352番 一 同

新入生の言葉 新入生代表 佐藤 花帆

頌 栄 27番 一 同

祝 禱

後 奏 (黙禱)

◎2011年度宮城学院高等学校入学式次第

日 時 2011年4月28日(木) 13:30～

場 所 中高講堂

司 式 教 頭 長井 祥子
奏 楽 教 諭 小野寺節子

前 奏

讃 美 歌 493番

聖書朗読及び祈禱 ヨハネによる福音書 15章12節～17節

宗 教 主 事 酒井 薫

校 歌 斉 唱 (1,4節)

氏名点呼 各 組 担 任

入学許可宣言 学 校 長 石井 道夫

学校長の言葉 学 校 長 石井 道夫

学院長の言葉 学 院 長 松本 宣郎

在学生の言葉 在校生代表 犬飼ひかり

讃 美 歌 520番

新入生の言葉 新入生代表 渡邊 繭子

頌 栄 27番

祝 禱

後 奏

◎2011年度宮城学院女子大学附属幼稚園入園式次第

日 時 2011年4月16日(土) 10:00～

場 所 幼稚園

司 式 色川 幸子

前 奏

はじめのこたば

聖書朗読 ヨハネによる福音書 第15章12節・16節

お 祈 り 学 院 長 松本 宣郎

入 園 許 可 園 長 三浦 友悦

新入園児を迎えるこたば 園 長 三浦 友悦

お祝いのこたば 学 長 海野 道郎

教職員紹介 園 長 三浦 友悦

～歓迎の歌～ 教 職 員

おわりのこたば

後 奏

◎宮城学院礼拝—東日本大震災の被災者を覚えて—

日 時 4月27日(水) 14:00～

場 所 礼拝堂

説 教 大学宗教センター所長 新免 貢

司 式 中高宗教主事 酒井 薫

奏 楽 大学音楽科 三友安紀子

前 奏

招きの言葉 詩篇23編1-6節 司 式 者

讃美歌(頌栄) 21-24 (たたえよ主の民) 一 同

聖 書 司 式 者

旧約聖書：申命記15章7-11

新約聖書：マルコによる福音書13章1-2節

祈 禱

讃 美 歌 21-457 (神はわが力) 一 同

説 教 「光あるうちに光の中を歩め」 説 教 者

祈 禱

讃 美 歌 21-411 (うたが迷いの) 一 同

祝 禱

後 奏

挨拶 理事長・学院長 松本 宣郎

鎮魂歌 YWC聖歌隊

石川啄木『一握の砂』から 三行詩 二題

◎宮城学院行事実施表(4月)……………P10へ

◎宮城学院行事予定表(5月)……………P11へ

通 知

◎大震災より被災した学生生徒・保護者の皆様へ (東日本大震災被災者支援策・その2、2011年4月20日付)

次のような支援策が「その2」として実施されます。

- (1) 保護者の被災(原発事故を含む)失業等による生活困難への対応
支援方法・宮城学院奨学会の奨学金給付・貸与とし、状況に応じて拡充する。
- (2) 3月卒業生に対する支援
支援方法・見舞金 50,000円
- (3) 内定取り消し者への支援
支援方法・宮城学院の臨時職員として雇用を検討する
- (4) 2012年入試、被災した受験生への対応
支援方法・大学・高校・中学入試の受験料免除
<問い合わせ窓口>
大学生・大学院生：学生支援グループ(学生生活担当)
中学生・高校生：中高事務室

◎東日本大震災により被災した教職員への対応について 2011年4月20日 教職員 各位

理事長・学院長 松本 宣郎
2011年3月11日に発生した東日本大震災により帰宅ができなかった学生・生徒への支援や学院復旧作業等にご尽力を賜り厚く御礼申し上げます。

震災から一ヶ月が過ぎ、建物の安全が確認され、4月16日の附属幼稚園入園式を皮切りに中高・大学においても新年度の学事歴開始に向けて準備がすすめられているかと思えます。余震が続く中での受け入れ準備は苦勞も多いことかと思えますが、新入生・在学生在を全教職員で迎えるため互いに協力しあい、新学期を開始したいと思っております。

さて、この度の震災で被災された教職員がいることは諸報告等で承知しております。被災された皆様には心よりお見舞い申し上げるとともに、宮城学院としてお見舞金を贈りたいと思えます。

つきましては、被災された教職員の方は、法人ホームページ教職員専用サイト(<http://www.mgu.ac.jp/~kyosyoku/>)から『被災調査書』をダウンロードしていただき、必要事項をご記入の上、総務人事部までご提出くださいますようお願いいたします。

◎東日本大震災に伴う通勤手当の取扱いについて 2011年4月20日 教職員 各位

総務人事部
2011年3月11日に発生した東日本大震災により、公共交通機関が多く地域で不通になる事態が発生いたしました。これにより、通常の通勤経路とは違う経路で通勤された方も多かったのではないかと思います。

このような場合の通勤手当の取扱いについて検討したところ、国家公務員に準拠して下記のとおりとすることになりましたので、お知らせいたします。

該当される方におかれましては、『通勤手当申請書』を5月1日までご提出くださいますようお願いいたします。

記

通勤経路において、5月1日以降引き続いて公共交通機関に不通となる区間がある場合、変更した通勤経路に

基づいて通勤手当の算定を行う

◎東日本大震災義援金について

【『宮城学院東日本大地震災害義援金』の協力をお願い】

このたびの東日本大震災は、未曾有の大災害となりました。被災された皆様に心よりお見舞い申し上げます。また、いたましくもお亡くなりになった皆様とご遺族に対し心より哀悼の意を表します。被災地域の日も早い復旧・復興を心よりお祈りいたします。

過去最大級の被害をもたらした東日本大震災から1ヶ月が過ぎました。復旧・復興には長い時間が必要とされておりますが、大学では、MG災害復興ボランティアを立ち上げ、大震災の地域社会復興に貢献すべく、多くの学生がボランティア活動に参加しております。

宮城学院は、被災学生・生徒、ご家族及び卒業生を含む罹災地への援助のために義援金を募ることといたします。義援金は、①被災学生・生徒及びご家族、卒業生へのお見舞い等、②被災地域へ日本赤十字社を通してお届けします。教職員、学生や保護者、宮城学院関係者、その他本学院関係の皆様には是非ご協力をお願いいたします。

・義援金の募集期間：2011年4月20日～7月末日
(第一期)

- ・義援金の振込み：ゆうちょ銀行
口座番号 02260-6-125826
口座名義 『宮城学院東日本大地震災害義援金』
○通信欄に①被災学生生徒等義援金、又は②一般罹災者義援金と指定してください。
※申し訳ございませんが払込手数料はご負担をお願いいたします。
※この義援金は税法上の控除の対象とはなりませんので、ご了解願います。
※振替の場合は、振替の受領書(半券)をもって受領書の発行に代えさせていただきます。
- ・現金でお受けする場合
総務人事グループ募金事務室
- ・教職員からの義援金は、要望があれば給与天引きも可能です。
※後日、お礼状をお送りいたします。また、ご芳名をWEBサイト等に掲載させていただきます。
※なお、掲載を希望されない場合は、振込用紙通信欄に「掲載を希望しない」とご記入ください。
<問い合わせ先>
総務人事グループ募金事務室

◎東日本大震災ボランティアについて ○教職員のボランティア活動について

2011年4月21日

教職員 各位

理事長・学院長 松本 宣郎

2011年3月11日に発生した東日本大震災により被害にあわれた方々に、心よりお見舞い申し上げます。

宮城学院は、教職員の皆様の献身的なご協力により、学生・生徒を受け入れる準備が整いつつあります。一方、沿岸部等においては、自宅が流失するなどして未だ避難所生活を強いられている方々が数多くおります。

このような状況の下、大学ではMG災害復興ボランティアを立ち上げ、学生たちによる炊き出しや子どもたちの心のケアを行うなどの活動が始まっています。教職員の皆様におかれましても、「被災地・被災者のために何かをしたい」という気持ちを強く持っておられることと存じます。宮城学院は、被災地・被災者を支援する活動を奨励いたします。是非、その気持ちを

動に移していただき、一人でも多くの教職員が、建学の精神の下、被災地・被災者を支援するボランティア活動に参加していただきたいと思っております。

なお、ボランティア活動に参加される際には、特別休暇5日（有給休暇）を付与することといたしましたのでご活用ください。また、ボランティア活動には幾つかの注意事項がございますので、ボランティア活動に参加される際には、「宮城県災害ボランティアセンター」等への登録をお勧めいたします。

OMG 災害復興ボランティアの募集

2011年3月11日、未曾有の大災害が発生し、宮城・岩手・福島を中心とする東北地方の太平洋沿岸は極めて大きな打撃を受けました。東日本大震災で犠牲となられた多くの皆様のご冥福をお祈り申し上げます。また、被災された皆様へ、心よりお見舞い申し上げます。東日本大震災の発災から一ヶ月を経てもなお、津波被災地では多数の方々が避難所での不自由な生活を余儀なくされており、また都市機能の再建も遅々として困難な状況です。東日本大震災は、その被害規模・広域性・複雑性において、我が国がかつて経験したことのない災害であり、そこからの復興には多数の人々による、様々な形の協力が必要となります。本学は建学の精神に基づき、震災からの地域社会復興に、学生・教職員の力を結集して貢献してまいります。

宮城学院女子大学は、学生たちによるボランティア活動への取り組みを、宮城学院女子大学リエゾン・アクション・センター（MG-LAC）を窓口として、力の限りサポートしています。

<災害復興ボランティア登録>

MG-LACは、ボランティアを希望する学生と現場とのマッチング、独自のプロジェクト立ち上げと継続運営の支援、各種トラブルに関する相談などの形で、学生による活動を後押しします。みなさんをお願いしているボランティア登録は、その第一歩です。

ボランティアをしたいが具体的にどうしていいかわからない、自分の希望にかなうボランティア先を見つけたい、既存の団体の活動に参加するだけでなく自分たちで独自にできる貢献のあり方を考えたい、などという学生の皆さんは、まずは登録用紙に記入の上、MG-LACまでご連絡ください。オフィスへ直接お越しただければ、その場で相談に乗ることもできます。

MG-LACを介さずにボランティア活動を行うことは自由ですが、その場合でも、どこでどのような活動をするのかを、MG-LACに登録してください。登録することにより、皆さんがボランティア先で思わぬ問題や困難に直面した際に、大学が支援しやすくなります。また、震災に関わるボランティアが求められる保険への加入に際しても、手続きや費用について援助することができます（ただし、既に加入済みの学生は除きます）。

<学生のボランティアに関する問い合わせ・登録先>

宮城学院女子大学リエゾン・アクション・センター
(MG-LAC)

◎同窓会から

【第31回ホームカミングデーの中止について】

観測史上初めて、世界最大規模、1000年来の未曾有の災害どんな言葉をもっても言い尽くせない位の自然の猛威の前になすすべもなく立ちすくむばかりです。

皆様方にはこの度の地震・津波災害によります被災は如何でございましょうか。心よりお見舞い申し上げます。

さて、2011年5月22日(日)開催を予定しておりました第31回ホームカミングデーについて、この度の震災により開催することが難しいと判断し、今年は中止することいたしましたので、何卒ご理解をいただきますようお願い申し上げます。

昨年より実行委員会を立ち上げ準備を重ねて参りましたことを考慮し、来年はそのまま今回の実行委員の方々にお願いすることといたしました。より一層皆様方に喜んでいただけますよう努めてまいりますので、2012年のホームカミングデーには大勢の方のご参加をお待ち申し上げております。なお、来年度は2012年5月27日(日)を予定しております。

被災地に訪れた桜のつぼみに小さな春を見つけましたが、復興に向けて歩みが始まっております中、大きな試練を乗り越える神様からの力を信じ、同窓生の絆で支え励まし合い、今後とも皆様のご支援、ご協力を賜りますようお願い申し上げます。

宮城学院同窓会 会長 岩井 陽子

通 知

◎東日本大震災による他施設被災に関する大学の講堂の一般貸出について

東日本大震災により、宮城県内の催事施設の多くが被災し、今現在使用できない状況が続いております。これにより音楽会をはじめ文化的行事が中止あるいは開催を見合わせている状況を踏まえ、施設被害が軽微であった学校法人宮城学院では大学講堂を原則無料で一般にお貸しさせて頂くことに致しました。

- ・貸与する催事について
プロ・アマチュア問わず、震災復興を趣旨とし、震災の影響で施設の確保が困難になった音楽会イベント等と宮城学院が認めるもの（要審査）。
 - ・使用料 無料
※有料イベントであるか無料イベントであるかは問いません。
ただし、事業規模・来場者数により必要経費（誘導スタッフ人件費、光熱費等）がかかる場合はご負担頂きます。
 - ・貸与可能日程
原則として2012年3月までの土・日・祝日。学校行事等で使用しない日となります（要調整）。
※ただし、土曜日は午後2時以降の使用となります。
 - ・貸与可能施設
名 称：宮城学院女子大学 大学講堂
所在地：宮城県仙台市青葉区桜ヶ丘9丁目1番1号
座席数：合計1,186席
（固定席1,154席 + 補助椅子32席）
駐車場：駐車台数には限りがございます。イベント実施時には公共交通機関をご利用ください。
- <問い合わせ先>
総務人事グループ

◎東日本大震災により被災した大学生に対する支援策の対象拡大と申請期間延長について

2011年6月10日付で東日本大震災により被災した大学生に対する支援策について、下記のとおり対象を拡大し、あわせて申請期間を延長することとなりました。

1)－Dについて、対象を拡大しました。また、1)－A・B・Cおよび2)については申請期間を延長します。以下の要件を満たす方、および罹災証明書が役場より発行されていないなどの理由で、まだ申請手続きを行っていなかった方は、期日までに申請書（申請時に罹災証明書等がそろってなくてもよい）を提出してください（以後、期日を過ぎても申請はできなくなりますのでご注意ください）。

【対象】2011年4月1日現在、本学に在籍する学生で、下記の要件を満たす方。

- 1) 特別支援「入学金・学費等減免」
 - A) 家屋が損害を受けた場合（全壊・流失）
 - B) 家屋が損害を受けた場合（半壊）
 - C) 父母等家計支持者が死亡した場合（行方不明含む）
 - D) 原発事故強制避難区域に自宅があり、避難

を余儀なくされた場合

2) 特別支援「見舞金」

- ① 自宅外通学者で、借りていたアパートが被災し転居が必要となった場合
- ② もともと自宅通学者であったが、震災・津波・原発事故等により自宅外通学を余儀なくされた場合

【提出期限】2011年6月20日(月)まで（必着）(この期限を過ぎての申請はできなくなります)

【申込/問い合わせ先】学生支援グループ（学生生活担当）

◎東日本大震災にかかる施設復旧状況によるプール利用（一般開放）の中止について

6月13日に開催された2011年度プール委員会において、東日本大震災の影響により、プール関連施設設備の期間中における復旧の目途が立たないため、例年学生・生徒・教職員に一般開放していたプール利用は行わないこととなりました。

資 料

◎学生・生徒・園児数

区 分		在籍生数				計
		1年	2年	3年	4年	
大 学 院	英語・英米文学専攻 (GSE)	2	1	—	—	3
	日本語・日本文学専攻 (GSJ)	1	4	—	—	5
	人間文化学専攻 (GSC)	2	7	—	—	9
	生活文化デザイン学専攻 (GSL)	1	2	—	—	3
	健康栄養学専攻 (GSH)	2	5	—	—	7
計		8	19	—	—	27
大 学 部	英 文 学 科 (E)	90	116	90	115	411
	日 本 文 学 科 (J)	114	119	133	135	501
	人 間 文 化 学 科 (C)	102	106	115	120	443
	音 楽 科 (M)	33	27	32	31	123
	食 品 栄 養 学 科 (F)	108	108	102	112	430
	生活文化デザイン学科 (L)	74	72	82	90	318
	発 達 臨 床 学 科 (D)	89	80	82	92	343
	国 際 文 化 学 科 (I)	88	126	105	114	433
	心 理 行 動 学 科 (P)	67	47	57	77	248
	児 童 教 育 学 科 (X)	64	64	54	68	250
計		829	865	852	954	3500
合 計		837	884	852	954	3527

区 分	1年	2年	3年	計	合計
高 等 学 校	161	234	162	557	811
中 学 校	78	94	82	254	

幼稚園	3歳児		4歳児		5歳児		計
	(男)	(女)	(男)	(女)	(男)	(女)	
	11	20	17	27	21	26	49

全学生・生徒・園児数 4,460名

◎寮生数

青桜シャロン寮		
学 年	人 数	
中 学 校	1年	4
	2年	2
	3年	6
	小計	12
高 等 学 校	1年	5
	2年	4
	3年	5
	小計	14
大 学 生	8	
大 学 院 生	—	
留 学 生	—	
合 計	34	

櫛 櫛 寮		
学 年	人 数	
大 学 院 生	1年	45
	2年	41
	3年	—
	4年	—
留 学 生	—	
合 計	86	

全寮生数 120名

通 知

◎東日本大震災による電力不足に伴う夏期の節電について

宮城学院は、東日本大震災による電力不足に伴う電気使用制限規則（経済産業省令第28号）により7月1日～9月9日（土日祝祭日を除く）までの期間、使用できる限度が791KW（契約電力の85%）となっております。徹底した節電を実施して規制値を厳守します。

学内で、規制値を守るために以下の節電対策を実施しますのでご理解ご協力をお願いします。

(1) 照明について

照度確認の出来た部屋で2割～3割の蛍光灯を外します。

中高・大学体育館は、日中の照明を原則使用禁止とします。

行動目標：執務時間の開始まで点灯しない。

窓側で照度が確保出来ている箇所は消灯する。

お昼休みは、消灯する。

授業終了後は、消灯する。

廊下は、支障のない限り日没まで消灯する。

最終退勤者は、事務室内・廊下等の消灯を確認する。

(2) 電化製品について

行動目標：パソコン・プリンター等の電源は小まめに切り、帰宅時にはコンセントを抜く。

お昼休みは、パソコンの電源を切る。

電気ポットの台数を減らし長時間の保温を止める。
冷蔵庫の設定温度を低めにするか、使用を控える。

(3) 空調機器について

温度設定を28℃とします。

行動目標：出勤時は、窓を開け外気を取り込み換気する、気温が上がって室内温度が、28℃を超えたら冷房機をつける。

事務室の冷房は、17:00までとし、残業時には冷房を付けない。

授業終了後は、使用者が電源を切る。

(4) エレベーターについて

第二講義館・第二家政館・図書館・礼拝堂のエレベーターは、10:00～17:00の時間、運転を停止します。

※ 上記行動目標をお願いする他、財務施設グループでは以下の項目を実施します

- ・節電のポスター等を貼り出し、節電に対する呼び掛けを行います。
- ・使用電力が、制限値を超える可能性がある時は、一斉放送にて節電を呼びかけます。
- ・節電パトロールを実施して消し忘れの防止に努めます。
- ・法人ホームページに学内消費電力量の表示をします。

節電努力を実施しても制限値を超える可能性がある時は、空調機器を一時的に停止します。

今回の方策は第一次案として行いますが、節電量の不足が生じた場合、更なる対応策も検討い

たします。

◎卒業式中止による「9・18の集い」にかかる2010年度学芸学部卒業生、大学院修了生へのお知らせ

あの震災から3ヶ月。この春、本学を巣立った皆さんも、今それぞれの持ち場でご活躍のことと存じます。

さて、2010年度卒業生（修了生を含む）の皆さんは、震災の影響で卒業式中止となり、そのままになってしまいました。教職員一同、たいへん残念に思っています。

そこで、来る9月18日(日)、宮城学院の創立記念日に合わせて、ささやかな「集い」を企画いたしました。学科によっては独自に企画を進めているところもありますが、9・18の「集い」は全学的な催しとなります。

詳細は後日、改めてご案内を差し上げる予定です。皆さんにはこの機会に、ぜひもう一度桜ヶ丘キャンパスにお集まりいただき、クラスメートや先生方との再会を楽しんでいただきたいと思っております。記念撮影用に「ガウン」と「帽子」などもご用意してお待ちしています。

皆さん、お誘い合わせの上、多数ご参加くださいますよう、お願い申し上げます。

<問い合わせ先>

教育研究支援グループ (TEL 022-279-4698)

◎東日本大震災に伴う2012年度大学の入学試験受験生への支援策について

宮城学院女子本学では、東日本大震災で被災した受験生を対象に、2012年度入試における入学検定料免除措置および2012年度入学生に対する入学金・授業料減免措置を行います。以下の内容に該当する方は特別措置の対象となりますので、お知らせいたします。

1. 入学検定料免除措置

【対象】災害救助法の適用地域において被災した2012年度受験生で、以下の申請要件を満たす方。

- A) 家屋が損害を受けた場合（全壊／流失）
- B) 家屋が損害を受けた場合（半壊）
- C) 父母等家計支持者が死亡した場合（行方不明も含む）
- D) 福島原発事故強制避難区域にあり、避難生活を余儀なくされた場合

2. 入学金・授業料減免措置

【対象】災害救助法の適用地域において被災した2012年度入学生で、以下の申請要件を満たす方。

(1) 被災状況

- A) 家屋が損害を受けた場合（全壊／流失）
- C) 父母等家計支持者が死亡した場合（行方不明も含む）
- D) 福島原発事故強制避難地域にあり、避難生活を余儀なくされた場合

●特別措置

- ・入学金半額免除
- ・前期授業料のみ全額免除

(2) 被災状況

- B) 家屋が損害を受けた場合（半壊）

●特別措置

- ・入学金半額免除
- ・前期授業料のみ半額免除

<問い合わせ先>

宮城学院女子大学教育研究支援グループ入試広報担当

・東日本大震災にかかる施設関係被害と復旧について

2011.7.11現在

	一次補修	二 次 補 修							建物合計
		講義館煙突	ハンセンホール 内壁補修	パイプオルガン 修理	橄欖寮 貯湯槽の補修	図書館内階段 ひび割れ補修	地割れ補修 等外構工事	家具等 転倒防止	
本館	2,855,290								2,855,290
実習館	2,720,553								2,720,553
人文館	7,213,717								7,213,717
講義館	36,706,349	19,000,000							55,706,349
第二講義館	5,530,917								5,530,917
家政館	23,689,533								23,689,533
第二家政館	662,084								662,084
音楽館	11,069,672		25,000,000	8,004,919					44,074,591
大学図書館	1,723,058					879,900			2,602,958
大学講堂	10,435,270								10,435,270
学生センター	4,138,171								4,138,171
礼拝堂	6,900,840			5,355,081					12,255,921
大学体育館	1,940,795								1,940,795
中高体育館	1,071,621								1,071,621
同窓会館	295,959								295,959
中高棟	17,821,607								17,821,607
中高講堂	3,209,881								3,209,881
ランディス館	368,583								368,583
幼稚園	948,078								948,078
橄欖寮	345,376				509,250				854,626
青シャロン寮	1,052,646								1,052,646
外構地盤 関係							4,678,000		4,678,000
家具転倒 防止								6,850,635	6,850,635
工事予定									210,977,785

講義館煙突 8/15～9/30
 ハンセンホール内壁補修 7/22完成
 パイプオルガン修理 8/9～9/20
 家具等転倒防止 調整中

一次補修計	140,700,000
二次補修計	70,277,785
総合計	210,977,785

6ヶ月がすぎて

理事長・学院長 松本宣郎

大震災から6ヶ月半がすぎました。東日本の人々が感じた、最も長い半年であったろうと思います。被災地では、サンマの豊漁とか、一部の生産業に復興の曙光が見られることも報じられますが、高台への町そのものの移転が望ましくとも見通しがつかないとか、福島から避難した人々の帰還についてもなんら明らかにならない、仕事がない、収入が確保できない、子どもはおもてで遊べない、などの問題は、震災直後よりもかえって深刻さをもって被災者を圧迫しているかのようです。ボランティアの働きにはめざましいものがありました、時間の経過と共に限界が示されてきます。

ボランティアとは逆のベクトルが「風評」です。京都の大文字焼きで福島の薪が拒まれた話がおこったところは、失笑ですめばよいがと思ったのですが、愛知県民の中には福島産の花火を打ち上げるのもやめさせたいとメールを寄せる人がいました。福島産食品は皆棄てた方がいいとTVで言い放つ識者もいました。それなりに言い分はあるのですが、正確さを求める冷静さ、被災者への思いやりと共感、がなぜ思い浮かばないのでしょう。キリスト教会とキリスト教学校は、すべての人に仕え、その痛みを負われたイエスを原点として、これら風評にもっとも厳しい目を向けられるはず。ボランティアの一つの形としての「風評排斥運動」を展開すべきだと思います。

外国人が日本を去っていったり、スポーツ選手やオーケストラ団員から、日本遠征や演奏旅行を忌避したり、ということも耳にします。そんな中、東日本に踏みとどまって支援に加わってくださる方々もたくさんおられます。仙台のチャイコフスキー国際コンクール優勝者、ピアニストのラン・ラン(郎朗)さんは10月11日、宮城学院を来訪し、幼稚園と大学講堂で演奏を披露していただきます。励まされる話題も決して少なく、小さくはないのです。

宮城学院にできた被災者支援のひとつが、大学講堂の開放でした。市内のイベント会場が多く機能を停止した中、損害が軽微だったことから、利用を呼びかけたところずいぶん多くの申し出がありました。たくさんの中高の合唱祭が行われました。9月5日から4日間、劇団四季がミュージカル「ユタと不思議な仲間たち」を、市内の小学6年生9千名を招いて上演しました。因みにこの作品の原作者は三浦哲郎ですが、ミュージカルの脚本は宮城学院出身の梶賀千鶴子さん、学院100周年の記念ミュージカル「ハート・バイ・ハート・ツアー」の総指揮者、であることは皆さんご存じの通りです。講堂の開放は尚しばらく続けたいと思っています。

この「学院報」は8月一ヶ月お休みをいただいたのですが、その1ヶ月ですら、様々なことがありました。大学YWCAと高校生は今年も広島に行き、平和への祈りに加わりました。市内や石巻などで、歌や器楽を通して被災者に音楽で奉仕した者もありました。大学で主催した、小学生のためのサマーカレッジは、緑の多いキャンパスを活かし、植物や小動物とのふれあいを伝えて好評でした。8月19日の事務職員研修では、元仙台市消防署長の藤橋さんから、これからの震災や様々な危機への対応について、貴重な講演を聴きました。危機管理体制を整えて、これから具体的に実践したいと思っています。

地震による損害復旧でもっとも時間がかかったのが、礼拝堂とハンセンホールのパイプオルガンでした。須藤功さんとそのチームが8月から1ヶ月半、懸命迅速な修復作業をしてくださって、9月16日に完了。中学校の朝の創立記念礼拝を皮切りに、元通りのオルガンの響きが宮城学院にもどりました。感謝の他ありません。

17日には第6回の建学の精神研修会が開かれました。大震災の被災者を覚え、これからの歩みのために、開会礼拝では喪われた命と、残された者たちについて聖書に学びました。キリストの十字架と復活とが、死んだ者にも残る私たちにもひとしく救いの希望を与える根拠だ、と教えられました。研修の講師には、16年前の阪神淡路大震災で甚大な被害を受けながら見事に復興された神戸女学院大学の飯謙学長から、大変貴重な、心のこもった講演をうかがうことが出来ました。

そして18日の午後には、ホームカミングと題して、卒業式を挙げてできなかった、この3月の大学卒業生に呼びかけてひとときをもつこともできました。ガウン着用の記念撮影や懇親会があり、予想以上の300人が集まりました。よい試みであったと思います。

改めて宮城学院の歩みへの祝福を思い、このあゆみを踏み外さぬようこころして秋を迎え、将来の計画に思いを致したいと考えます。

◆東日本大震災により被災された今年度受験生に対する支援策について

2011年3月11日に発生した東日本大震災で被災された皆様には、心よりお見舞い申し上げます。

本学では、東日本大震災で被災された今年度の受験生に対する入学検定料免除措置を行います。また、2012年度入学者に対しての入学金・授業料減免措置も決定しております。

申請方法等詳細につきましては、本学ホームページ (<http://www.mgu.ac.jp>) に掲載いたしますので、ご確認くださいませようお願いいたします。

なお、入学検定料免除申請は、出願期間前に事前申請していただきます。申請が許可された場合に限り、検定料の振込みは不要となります。

また、入学金・授業料減免措置につきましては、入学後あらためて申請していただきます。

本件に関するお問い合わせは、教育研究支援グループ入試広報担当（022-279-5837）までご連絡ください。

公 示

◎学校法人宮城学院における「地震発生時における教職員の参集基準」について

2011年11月1日策定
理事長・学院長 松本 宣郎

このたび、「地震発生時における教職員の参集基準」を以下のとおり策定しましたのでお知らせします。

<参集基準>

教職員は、勤務時間外においても、地震が発生したときは、参集の伝達を待つことなく、自らや家族等の安全を確保した後、下表により直ちに勤務場所に自主的に参集しなければならない。

なお、交通の途絶、道路の損壊等により勤務場所に参集できない場合は、自宅待機とする。

(表)

区分	地震の程度	参集者
1	仙台市青葉区で震度5弱の地震が発生したとき	①法人防火・防災管理責任者 ②総務人事部長、財務施設部長 ③法人防火・防災管理者 ④財務施設部財務施設グループ(施設担当者)
2	仙台市青葉区で震度5強の地震が発生したとき	①全防火・防災管理責任者 ②学長補佐、教務部長、入試部長、学生部長、教育研究推進部長、学術情報部長、大学事務部長、高等学校教頭、中学校教頭、中高事務長、幼稚園教頭、総務人事部長、財務施設部長
2	同上	③防火・防災管理者 ④財務施設部財務施設グループ(施設担当者)
3	仙台市青葉区で震度6弱以上の地震が発生したとき	①全教職員(注)※ただし、日没後の場合には、夜明けを待って適宜登校

(注) 全教職員とは、大学教員(契約教員含む)、中高教員(常勤講師含む)、幼稚園教諭(臨時教諭含む)、大学副手、事務職員(嘱託職員含む)を指します。

<補足事項>

- 1 仙台市青葉区で震度5弱又は震度5強の地震が発生したときの参集者以外の者は、平日等勤務日であればその日の始業時刻に出勤し、休日等勤務日以外であれば次の勤務日の始業時刻に出勤してください。
- 2 仙台市青葉区で震度6弱の地震が発生したときの参集者以外の者(臨時職員等)は、職場から連絡があるまで自宅で待機してください。

通 知

◎宮城学院中学校・高等学校における2012年度被災生徒(受験生を含む)への支援策について

A. 受験生(中学校・高等学校とも)対象の支援策

宮城学院中学校高等学校では、東日本大震災により被災された方の経済的負担を軽減し、生徒の修学の機会を確保するため、2012年度も引き続き次のとおり被災生徒への支援を実施いたします。

1. 受験料の免除

以下に該当する場合は『志願票・A票』の裏面に『罹災証明書等(コピー)』を貼付して出願書類を提出してください(受験料の振込みは不要となります)。

- ① 自宅家屋が全壊・大規模半壊・半壊
- ② 主たる家計維持者が死亡又は行方不明
- ③ 福島原発事故に伴う避難指示又は避難勧告により、主たる家計維持者が所有する自宅家屋に長期間居住できない

B. 在校生及び入学予定者対象の支援策

1 授業料減免措置(2012年度)

対 象 者	支 援 内 容	
	入学予定者	在 校 生
主たる家計維持者が死亡又は行方不明	入学金、授業料を前期及び後期分免除	授業料を前期及び後期分免除
主たる家計維持者が所有する自宅家屋が全壊・流失	入学金の1/2免除授業料を前期分免除	授業料を前期分免除
同上(大規模半壊を含む)	入学金の1/2免除授業料を前期分の1/2免除	授業料を前期分の1/2免除
主たる家計維持者が所有する自宅家屋が福島原発事故に伴う警戒区域又は計画的避難区域にあり、長期にわたって避難している場合	入学金の1/2免除授業料を前期分免除	授業料を前期分免除
主たる家計維持者が被災により失職等の場合	入学金の1/2免除授業料を前期分免除	授業料を前期分免除

- ※入学金には、施設費を含みません。
- ※授業料には、施設整備資金等を含みません。
- ※入学予定者は一旦入学金を納入いただき、入学後返還手続きをお取りいただきます。

2 修学支援給付奨学金(2012年度)

対 象 者	支 援 内 容	
	入学予定者	在 校 生
東日本大震災での被災により、経済的困窮度が高く、修学が困難な方	困窮度に応じて30万円又は20万円を支給	

- ※東日本大震災での被災の範囲は、原則として上記1の対象者に同じです。
- ※困窮度は、主たる家計維持者の収入状況等を参

考として総合的に判断します。
3 寮費減免 (2012年度)

対象者	支援内容	
	入学予定者	在校生
主たる家計維持者が死亡又は行方不明		
主たる家計維持者が所有する自宅家屋が全壊して転居を余儀なくされた場合		
主たる家計維持者が所有する自宅家屋が福島原発事故に伴う避難指示又は避難勧告等を受けた地域にあり、長期にわたって自宅家屋に居住が困難と認められる場合	入寮費免除寮費の1/2免除	寮費の1/2免除

※入学予定者は一旦入寮費を納入いただき、入学後返還手続きをお取りいただきます。

◇上記1、2及び3は併せて申請することができます。

◇上記1及び2のいずれとも「宮城学院奨学会奨学金」を併せて利用することはできません。

<中学校・高等学校の支援策に関する問い合わせ先(受験生・入学予定者・在校生とも)>

宮城学院中学校高等学校事務室

Tel: 022-279-1331 (直通)

◎宮城学院女子大学における2012年度被災学生(受験生を含む)への支援策について

宮城学院女子大学では、東日本大震災により被災された方の経済的負担を軽減し、学生の修学の機会を確保するため、2012年度も引き続き次のとおり被災学生への支援を実施いたします。

A. 受験生対象の支援策

東日本大震災で被災された方を対象に、2012年度入試(2011年4月～2012年3月実施)における入学検定料免除措置および2012年度入学生に対する入学金・授業料減免措置を行うことを7月5日に発表しております。これに伴い、以下の内容に該当する方は特別措置の対象となりますので、下記の要領で申請手続きを行ってください。

1. 入学検定料免除措置

【対象】災害救助法の適用地域において被災した2012年度受験生で、以下の申請要件を満たす方。

- A) 家屋が損害を受けた場合(全壊/流失)
- B) 家屋が損害を受けた場合(半壊)
- C) 父母等家計支持者が死亡した場合(行方不明も含む)
- D) 原発事故強制避難区域(警戒区域/避難区域)に自宅があり、避難生活を余儀なくされた場合

【申請方法】

- ① 入学検定料免除措置申請書をホームページからダウンロードし、必要事項を記入してください。
- ② 申請書に下記の書類を添付のうえ、③の申請期間(必着)に「入試広報担当宛」まで、必ず郵送してください。郵送の際には、封筒の表に「入学検定料免除申請書在中」と分かるように書いてください。

【状況/添付書類】

- (A) 家屋の全壊/流出 / (B) 家屋の半壊
- ・罹災証明書(コピー可)またはそれに代わる証

明書類(市町村など公的機関が発行したもの)
(C) 父母等家計支持者の死亡(行方不明)

・死亡診断書(コピー可)またはそれに代わる証明書類(市町村など公的機関が発行したもの)

(D) 原発事故強制避難区域(警戒区域/避難区域)に自宅があり、避難を余儀なくされた場合

・被災証明書(コピー可)またはそれに代わる証明書類(市町村など公的機関が発行したもの)

③申請期間

・試験区分 大学院入試①

申請期間 9/20(火)～9/26(月)必着

出願期間 10/3(月)～10/14(金)必着

試験日 10/22(土)

・試験区分 編入学試験・社会人入試・帰国子女入試①

申請期間 10/11(火)～10/17(月)必着

出願期間 10/22(土)～10/28(金)必着

試験日 11/12(土)

・試験区分 推薦入学

申請期間 10/11(火)～10/20(木)必着

出願期間 10/29(土)～11/4(金)必着

試験日 11/12(土)

・試験区分 A 日程(一般入試・センター利用入試)

申請期間 12/5(月)～12/15(木)必着

出願期間 1/5(木)～1/19(木)必着

試験日 2/4(土)

・試験区分 大学院入試②

申請期間 1/23(月)～1/27(金)必着

出願期間 2/6(月)～2/17(金)必着

試験日 2/25(土)

・試験区分 帰国子女入試②・外国人留学生試験

申請期間 1/30(月)～2/4(土)必着

出願期間 2/10(金)～2/17(金)必着

試験日 3/7(水)

・試験区分 B 日程(一般入試・センター利用入試)

申請期間 2/6(月)～2/13(月)必着

出願期間 2/17(金)～2/24(金)必着

試験日 3/7(水)

申請内容を審査のうえ、後日結果通知を送付いたします。申請は、一度行えば2012年度入試(2011年4月～2012年3月実施)全ての入学試験に適用いたします。特別措置決定通知を受け取った方は、出願の際に必ず特別措置決定通知のコピーを同封してください。その場合は検定料の納付は必要ありません。

原本は、本学の他の入試日程でも使用できませんので、大切に保管してください。

同日の入学試験日程に出願する場合も、それぞれの出願書類とともに同封してください。

2. 入学金・授業料減免措置について

入学金・授業料減免特別措置については、2012年度入学生を対象に実施することから、以下の在学生対象の申請手続きは入学後にあらためて行っていただきます。

2012年度入学試験に合格し、入学手続きを行う際は、本学から合格証とともに送付する入学手続き要項にしたがって手続きを行ってください。

減免措置に伴う差額分の返金については、申請手続き終了後、許可された方を対象に1ヵ月以内を目処に返金を行います。詳しい手続き方法等は決定次第通知いたします。

不明な点は、入試広報担当までお問い合わせください。

B. 在学生対象の支援策

1 授業料減免措置 (2012年度)

対 象 者	支 援 内 容	
	入学予定者	在 校 生
主たる家計維持者が死亡又は行方不明	入学金、授業料を前期及び後期分免除	授業料を前期及び後期分免除
主たる家計維持者が所有する自宅家屋	全壊・流失	入学金の1/2免除授業料を前期分免除
	半壊(大規模半壊を含む)	入学金の1/2免除授業料を前期分の1/2免除
主たる家計維持者が所有する自宅家屋が福島原発事故に伴う警戒区域又は計画的避難区域にあり、長期にわたって避難している場合	入学金の1/2免除授業料を前期分免除	授業料を前期分免除
主たる家計維持者が被災により失職等の場合	入学金の1/2免除授業料を前期分免除	授業料を前期分免除

※授業料には、施設整備資金等を含みません。

※入学予定者は一旦入学金を納入いただき、入学後返還手続きをお取りいただきます。

※大学院生を含みます。

2 修学支援給付奨学金 (2012年度)

対 象 者	支 援 内 容	
	入学予定者	在 校 生
東日本大震災での被災により、経済的困窮度が高く、修学が困難な方	困窮度に応じて40万円又は30万円を支給	

※東日本大震災での被災の範囲は、原則として上記1の対象者に同じです。

※困窮度は、主たる家計維持者の収入状況等を参考として総合的に判断します。

※大学院生を含みます。

3 寮費減免 (2012年度)

対 象 者	支 援 内 容	
	入学予定者	在 校 生
主たる家計維持者が死亡又は行方不明	入寮費免除 寮費の1/2免除	寮費の1/2免除
主たる家計維持者が所有する自宅家屋が全壊して転居を余儀なくされた場合		
主たる家計維持者が所有する自宅家屋が福島原発事故に伴う避難指示又は避難勧告等を受けた地域にあり、長期にわたって自宅家屋に居住が困難と認められる場合		

※入学予定者は一旦入寮費を納入いただき、入学後返還手続きをお取りいただきます。

◇上記1、2及び3は併せて申請することができます。

◇上記1及び2のいずれとも「宮城学院奨学会奨学金」、「宮城学院女子大学特別奨学金」又は「宮城学院同窓会奨学金」は併せて利用すること

はできません。

<大学の支援策に関する問い合わせ先>

○受験生・入学予定者 入試広報担当

電話 022-279-5837 (直通)

○在学生 学生生活担当

電話 022-279-4957 (直通)

◎学校法人宮城学院と宮城学院生活協同組合との間における災害時の相互協力に関する協定の締結について

学校法人宮城学院と宮城学院生活協同組合との間において、災害時の相互協力に関し2012年11月1日付発効として以下の協定が締結されました。

(目的)

第1条 甲及び乙は、地震、風水害、大火災その他による災害(以下「災害」という。)が発生した場合に、学校法人としての責任を負う立場で、相互に協力して本学院構成員並びに本学院に避難してきた地域住民の安全・安定を図るものとする。

(協力要請)

第2条 甲は、市内に災害が発生し又は発生するおそれがある場合において、物資を調達する必要があると認めるときは、乙に対し、その保有する物資の供給を要請することができるものとする。

(物資供給の協力実施)

第3条 乙は、前条の規定により甲から要請を受けたときは、保有物資の優先供給及び運搬について、積極的に協力するものとする。

(物資の供給要請手続等)

第4条 第2条の規定による要請(以下「要請」という。)は、文書により行うものとする。ただし、文書により要請することができないときは、口頭により要請し、事後、速やかに文書を交付するものとする。

2 乙は、要請を受けたときは、その要請事項について速やかに措置し、その措置状況を甲に文書をもって連絡するものとする。

(物資の引渡し)

第5条 物資の引渡場所は、甲が指定するものとし、甲は、引渡場所へ職員を派遣し、要請に係る物資を確認のうえ、乙から引渡しを受けるものとする。

(物資の価格)

第6条 物資の取引価格は、災害発生直前時における適正な価格とする。

(代金の支払)

第7条 甲は、引き取った物資の代金を、乙からの請求書を受理した後、遅延なく支払うものとする。

(情報の交換)

第8条 甲及び乙は、この協定に基づく協力が円滑に行われるよう、必要に応じて情報交換を行うものとする。

(協議事項)

第9条 この協定に定めのない事項及びこの協定に関し疑義が生じたときは、その都度、甲乙協議して定めるものとする。

(有効期間)

第10条 この協定は、2011年11月1日から適用するものとし、甲乙いずれかからもこの協定を終了する旨の申し出がない限り継続するものとする。

通 知

◎宮城学院・被災学生支援のためのチャリティーコンサート

日 時：2012年3月11日(日) 14:00～
場 所：大学講堂
主 催：宮城学院女子大学音楽科附属音楽教室
後 援：宮城学院同窓会

<プログラム>

パッヘルベル：カノン
小山和彦：花咲く丘にて 2009
モーツァルト：アイネ・クライネ・ナハトムジーク
グリーグ：2つの悲しいメロディー Op.34
グリーグ：2つの 北欧的旋律 Op.63
ホルスト：セントポール組曲

<出演>

宮城学院音楽教室弦楽アンサンブル

<友情出演>

えずこヴァイオリンアカデミー

そ の 他

◎東日本大震災関連

○東日本大震災義援金のご報告

東日本大震災により被災された皆様に心よりお見舞い申し上げます。また、震災直後から多くの方々よりご支援及びご支援の申し出をいただきましたことに心より御礼申し上げます。

宮城学院では、被災学生・生徒、ご家族及び卒業生を含む罹災地への援助のために義援金の募集活動を行ってきたところですが、多くの方々から温かいご協力をいただき、総額5247万900円の義援金が寄せられました。皆様方のご厚意に感謝申し上げます。

お預かりした義援金は被災した学生生徒等への支援及び日本赤十字社を通じて被災された方々の支援に役立てさせていただきます。

なお、個人からの義援金は確定申告により寄付金控除の適用を受けることができます。

詳細につきましてはお問い合わせください。

[お問い合わせ先]

学校法人宮城学院 募金事務局 (総務人事部内)

電話：022-279-1311

<義援金内訳>

全 体	298件	52,470,900円
<内訳> 1. 団 体	87社	30,424,050円
2. 個 人	211名	22,046,850円

<配布先・配分類>

日 本 赤 十 字 社 指 定	673,000円
本 学 学 生 生 徒 等 支 援	51,797,900円
合 計	52,470,900円

○被災学生生徒に対するご支援のお願い

東日本大震災により被災された皆様に心よりお見舞い申し上げます。また、震災直後から多くの方々よりご支援及びご支援の申し出をいただきましたことに心より御礼申し上げます。

さて、宮城学院では、震災の影響等により家計が困窮したことで修学をあきらめざるを得ない学生生徒に対して、2012年も引き続きできる限りの支援をして参ります。

各方面の有志の方々には、よろしくご協力、ご協賛を賜りたく存じます。

宮城学院は、被災地仙台に存する教育機関として、引続き、大震災からの復興を担う人材の育成に努めて参りますので、本趣旨に対し何分のご配慮を賜りよろしくご支援いただければ幸いと存じます。

学校法人宮城学院 理事長・学院長 松本 宣郎

<支援金の募集期間>：2012年1月1日～12月31日

[お問い合わせ先]

総務人事部募金事務局 電話 022-279-1311

東日本大震災から1年 —宮城学院の復興へのあゆみ—

理事長・学院長 松本宣郎

大震災1年を過ぎて、ホームページにメッセージを掲げました。学院報にも再録します。

2011年3月11日という日は、東北日本だけでなく、日本全体にとって、痛ましくも、また忘れがたい、忘れてはならない日となりました。それは宮城学院にとっても同じでありました。宮城学院の建物全体が激しい揺れに襲われました。ライフラインが途絶しましたが、勤務中の教職員一丸となって、キャンパスにいた学生生徒400人を保護し、情報の収集と帰宅困難者のための手当にあたりました。日を追って被害の詳細が知らされ、福島原発緊急事態のニュースにも懸念が深まっていったこと、などが私たちの記憶にやきついています。

宮城学院に大震災がもたらした痛みは次のようなものとなりました。津波の襲来で、海岸部にいた、女子大の4年生、高橋紗織さんと2年生、阿部茉莉奈さんが亡くなりました。入学を目前にしていた加藤春菜さんも命を奪われました。宮城学院同窓会では、岩沼などにお住まいの方々など20名余が犠牲となりました。

建物の損壊は幸いに大きくはなかったものの、2体のパイプオルガンなど、施設設備の被害は、2億5千万円に上りました。

親や家族を失ったり、家屋がこわれ、保護者の家計が失われた学生生徒には、授業料免除などの支援を実施しましたが、対象者は6百数十名、金額で4億円となりました。200名ほどの教職員の多くも被災を経験しました。

私たちは、被災の後、懸命に復興の仕事に取り組みましたが、そのときに想起したのは「神は耐えられないような試練に遭わせることはなさない」とのみ言葉でした。それからの宮城学院の試練克服の歩みは、その通り、神の守りによって着実であったと思います。4月に施設の修復を急ぎ、4月27日に、被災者への慰めと復興へのはげましを祈る礼拝をもち、幼稚園を最初として5月には学校の授業を再開できました。また、より厳しい被害にあわれた方々のために、早くよりボランティア活動を志す学生・教職員が多数出てきました。学院としても大学講堂を公開して、音楽やミュージカルで被災者にはげましを提供する試みに協力しました。「神を畏れ、隣人を愛する」とのスクールモットーは、この大きな災害に際して、あらためて私たちの導きの言葉となりました。

海外を含めて、とても多くの方々や学校から、膨大な献げものをいただきました。公的な補助と合わせて、上で述べたような、被災した学生生徒への支援を進めることが出来ました。ここにあらためて感謝申し上げます。

大震災1年を迎えて、宮城学院はいつもの年通りに入学試験を実施でき、新しい年度の入学生を与えられています。日々の教育を滞りなく行っています。これからの諸計画をも構想できるようになりました。もちろん私たちは、震災で悲しみを負い、痛みがなおいやされない学生・生徒たちのことを忘れてはおりません。さらに東日本の広い地域、ことに福島県の方々の苦しみへの支援を続けたいと念じています。

別添の通り、宮城学院として、震災で天に召された方々を追悼し、痛みを負われた人々への慰めを祈り、またこの1年の復興への歩みを守って下さった神に感謝して、新たな1年への祝福とお見守りをも願う思いをこめ、記念の礼拝を持つことといたしました。

大震災1年を迎え、宮城学院の試練と復興についてご報告申し上げ、日頃宮城学院にご支援いただき、お祈り下さっている皆さまに、深く感謝してご挨拶といたします。

10 学生・生徒・園児数（2011年3月1日現在）

		在籍者数（名）
宮城学院女子大学	学部	3,464
	大学院	28
宮城学院高等学校		588
宮城学院中学校		260
宮城学院女子大学附属幼稚園		122
計		4,462